

当面する行動・取り組みについて

●第128回拡大地方委員会は 確認・承認されました

●第128回拡大地方委員会は文書審議とし各委員から委任状と表決用紙が届きました。委員10名中、賛成10名・反対0・欠席0で第128回拡大地方委員会が成立しました。

●2月28日、11時を持って締め切りとし第128回拡大地方委員会の表決結果について、12時30分より地本3役出席の下、当面する闘争方針（案）の審議結果について確認・承認されました。



●委員から発言が寄せられています。

石田委員から、「中越事務所の解体とその清算支出に向けて着手して欲しいとありました。日々、経費がかかっていると思いますので早急に実行するよう求めます。」

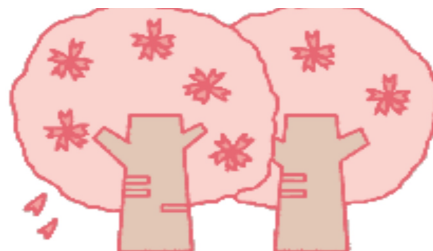
この問題については、執行委員会でも議論し早急に進めていかなければならない。具体的に進めていきます。



●3月7日に第6回執行委員会を開催し当面する行動・取り組みについて議論しました。

○コロナ禍で、7日の春闘行動については中止しその後の具体的な行動はありません。中央では国労春闘中央総決起集会が2月25日にリモートで開催しました。

○地本では4月9日に分代&組織強化・拡大対策会議を開催します。13時から地本事務所です。

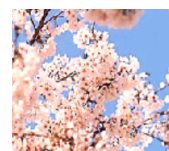


組織拡大の目標は 地本1名です

○拡大中央委員会で当面する闘争方針が決定しました。コロナで具体的な行動が取り组まれませんでした。今何ができるのか、組合員全体で議論しさまざまな課題について取り組みを進めていきたいと決意しています。



№1064
発行
2022年
3月15日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
清野 聡
編集責任者
教 宣 部



編集後記

3月も後半になり、少しづつ暖かくなってきました。
新潟県も10℃を超える日が何日か続きました。

桜の開花予想が発表され新潟県は4月6日だそうです。

東京は3月中旬から咲き始めるそうですが連日気温が上がっているようです。



この前、津南へ行ってきました。皆さんに逢えて良かったです。元気そうでした。

行くところは「蔵カフェ」と「ママの店」（ケーキ屋さん）そして、「しなの荘」です。

道路は除雪が行き届いて全く雪はありませんが、道路の脇に雪がいつぱい積まれてあり2mを超えていました。

歩道は雪に埋もれていて、バス停の看板は雪で埋もれていました。今月、また行く予定です。これから「雪下ニンジン」の掘り起しがはじまります。

とっても甘くて美味しいです。新潟市内のスーパでも販売しています。

ロシアのウクライナ侵略糾弾！ 即時撤退を！

ロシア軍によるウクライナ侵略は日々激化し、泥沼化の様相を呈しています。

無差別爆撃やミサイル攻撃によって罪もない市民や子供たちが犠牲となる一方、多くの市民が難民となり戦火を逃れて国外に脱出しています。

国連の緊急特別会合でも圧倒的多数の国々の賛成によって即時撤退を求める決議が採択されました。

ロシア軍は言語道断にも稼働中の原発施設を砲撃しました。

火災を発生させるなど人類を破滅に導きかねない許しがたい蛮行を行い、ハリコフの核研究施設にロケット攻撃を加え、さらに欧州最大のサポリージャ原発に続いて南ウクライナ原発の占拠も試みていると伝えられています。



国労は「ロシアによるウクライナ軍事侵略に強く抗議し、即時停戦と紛争の平和的解決を求める声明」を2月28日発しました。

具体的な取り組みとして「ロシアのウクライナ侵略糾弾！即時撤退を！」3・11新宿大アクション」

3月11日・18時 新宿公園で開催されました。



ロシアによるウクライナ軍事侵略に強く抗議し、 即時停戦と紛争の平和的解決を求める声明

ロシアのプーチン大統領は、2月21日、ウクライナ東部地域のロシア系住民が実効支配する「ドネツク人民共和国」「ルガンスク人民共和国」の独立を承認、「友好協力相互援助条約」に署名し、派遣要請を根拠に24日にウクライナへの武力攻撃を開始し、軍事侵略に踏み切った。

ウクライナの主権と領土を武力で侵し、一方的に独立承認するなどの行為は紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反する蛮行であり断じて許されない。ロシア軍は、ウクライナ東部の独立を承認した地域にとどまらず、ウクライナ全土に戦火を拡げているが、兵士のみならず、ミサイル攻撃などによりすでに民間人や子供も含む多数の死傷者が出ている。さらにロシア国内においてもこうした暴挙に抗議し、戦争に反対するデモや集会を警察権力によって暴力的に抑え込もうとしている。

プーチン大統領は、国内外でわきおこる抗議の声に耳を傾け、ただちにロシア軍を撤退させ、軍事侵略を中止し、国際社会との対話の席に着かなくてはならない。

旧ソ連崩壊後、米国を盟主とする北大西洋条約機構（NATO）はロシア周辺への軍事的包囲網を拡大してきた。ウクライナとは歴史的に密接な関係にあるロシアは、NATO非加盟の確約を米国に求めたが、「どの国にも加盟の自由がある」と米国は拒否した。その間、ウクライナは米口の間で引き裂かれ、双方からの武器援助により東部地域においては2014年から8年にわたる内戦を強いられた。

しかしながら、プーチン大統領が主張する「自衛」のために軍事侵略が正当化されることは、過去において日本が引き起こした侵略戦争は言うに及ばず、岸田政権が目論む「敵基地攻撃論」にも通ずるものであり、いかなる詭弁を弄しても国際社会からの理解を得られることはない。

さらにウクライナでは現在、15基の原発が稼働しているが、ロシア軍が1986年に大事故を起こしたチェルノブイリ原発を武力で制圧したと伝えられている。核兵器による攻撃がなくても破壊行為などによって偶発的な放射能事故ともなりかねない原発の存在は危険極まりない大きな脅威である。

この間、プーチン大統領は、公然と核兵器使用をほのめかす発言をし、ベラルーシ軍と共同で核兵器搭載可能な大陸間弾道ミサイルを使った軍事演習を実施するなど、核による威嚇を繰り返してきた。核兵器禁止条約が発効し、核兵器の非人道性が指摘されるなかでのプーチン大統領の発言は、「核兵器」を弄ぶものであり、断じて許されない。

国労はロシアによるウクライナ軍事侵略に強く抗議するとともに、憲法9条が掲げる戦争放棄の理念のもと、国際社会の恒久平和を世界に訴えながら、即時停戦と紛争の平和的解決を強く求め、世界の労働者・市民と連帯して共に平和・人権・民主主義を守り抜くため、全力をあげる決意である。

2022年2月28日

国鉄労働組合